～大人も通える小学校～

みんなの学校

町では、「ひとづくり」「つながりづくり」「地域づくり」を目指して、五城目小学校を開放した講座を実施しています。どなたでも参加できます。

問 町教育委員会生涯学習課（☎852・4411）

12月実施の講座一覧

ミュージカルWS ミュージカル体験ワークショップ！

- 日 時　12月６日㈰ 午後１時～午後２時30分
- 会 場　五城目小学校 体育館 **※会場を変更しました。**
- 講 師　汰生喜ーTaikiーさん（アーティスト）
- 持ち物　内履き　※動きやすい服装

五城目で世界一周

- 日 時　12月10日㈭ 午後1時30分～午後2時30分
- 会 場　五城目小学校　階段教室
- 講 師　丑田 俊輔さん（ハバタク株式会社 共同代表）

高校生が五城目町長になって町財政を考えてみた

- 日 時　12月15日㈫ 午後1時30分～午後2時30分
- 会 場　五城目第一中学校
- 講 師　五城目高校、財務省東北財務局

みんなの学校の未来へ！

- 日 時　12月16日㈬ 午後6時30分～午後7時30分
- 会 場　地域図書室わーくる
- 講 師　畑澤 政信さん（五城目町　前教育長）

誰でも楽しくイラスト塾

- 日 時　12月19日㈮ 午後1時30分～午後2時30分
- 会 場　五城目小学校図工室
- 講 師　小熊 美奈子さん（ものかたり）

講座の詳細やお申し込みは、QRコードからみんなの学校ホームページをご覧ください。

ご利用ください!予約式乗合タクシー
１回300円で利用できます！



乗合タクシーは、自宅前から乗車し、病院やスーパーまでみんなで相乗りして利用するタクシーです。

１便目は前日まで、２便目以降は各便がイオンを出発するまでのご予約でご利用できます。

詳細はQRコードから町ホームページをご覧ください。

問 町まちづくり課（☎852・5361）

事前申し込みなし！
途中入退室OK！

議会を語ろう

町民の皆さんと議員が直接意見を交わす「議会を語ろう」を開催します。五城目町議会のことを、お気軽にお話ししてみませんか？

- 会　場　五城目朝市ふれあい館
- 第１回　11月 5日㈬ 午後６時～
- 第２回　11月 6日㈭ 午後６時～
- 第３回　11月14日㈮ 午前10時～

皆さんのご参加お待ちしております！

問 町議会事務局（☎852・5411）

窓口営業時間変更のお知らせ

五城目郵便局と内川郵便局は、11月30日㈰から、窓口休止時間を設けさせていただきます。
お客様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

JP POST 郵便局

【窓口休止時間】 12:30～13:30（五城目郵便局）
12:00～13:00（内川郵便局）

【窓口営業時間（平日）】※ATMの取扱時間については、変更ありません。

	変更前（11月27日㈭まで）	変更後（11月30日㈰から）
郵便	9:00～17:00	9:00～12:30、13:30～17:00（五城目郵便局） 9:00～12:00、13:00～17:00（内川郵便局）
貯金・保険	9:00～16:00	9:00～12:30、13:30～16:00（五城目郵便局） 9:00～12:00、13:00～16:00（内川郵便局）

１名のJICA（ジャイカ）海外協力隊候補生を地域おこし協力隊インターンに委嘱

10月９日、本町で実施される「JICA海外協力隊グローカルプログラム」で活動する１名の候補生を、「地域おこし協力隊インターン」に委嘱しました。

この事業は、本町と独立行政法人国際協力機構（JICA）との間で結ばれた連携協定に基づくもので、海外協力隊候補生の国内研修を自治体と連携して行い、国際協力の推進や町の振興、多文化共生社会の実現などを目指す全国初の取り組みです。これまでの本町での候補生受け入れは６度目、連携協定締結後は４度目となります。

町では、本年６月19日から８月25日まで活動した３名の候補生に引き続き、今回新たに１名の候補生が12月17日まで活動を行う予定です。

【 JICA海外協力隊候補生をご紹介します 】



山元（やまもと） 海鈴（みすず）さん（宮崎県出身・24歳）

【派遣国】セネガル

【趣味／特技】トランペット、ピアノ、旅行

【活動に向けてひとこと】

五城目町の皆さまと出会い、交流しながら、新たな経験を重ねていけることを楽しみにしております！



町長から委嘱状を受ける山元さん

ふるさとを想う

私の第二のふるさと

ふるさと五城目会　恩田 範子

私は、千葉県習志野市津田沼で嫁ぐまで過ごしました。近くの県道を渡ると谷津干潟があり、かつては潮干狩りを楽しむことができましたが、埋め立てが進み工業地帯へと変わりました。駅前も商業ビルやマンションへと姿を変え、便利になった一方で寂しさを感じることもありました。地元を離れず田舎で暮らす友人の話を聞くたび、その暮らしを羨ましく思い、田舎への憧れをずっと抱いていました。

そんな中、五城目町出身でふるさと会に入っている方とご縁があり、親しくさせていただくようになりました。故郷のお話を聞くうちに私の中に五城目の風景が浮かぶようになり、テレビの「鶴瓶の家族に乾杯」で町が紹介された際には、思い描いていた通りの温かい風景が映し出されていました。「ここに行ってみたい」「何かお手伝いができないか」と、そんな思いが芽生えていきました。

そんな時、知人の口添えをいただき、千鳥ヶ淵で開催されたさくらフェスティバルにお手伝いとして参加しました。

初日は雨の中、「秋田・五城目から来ました！だまこ鍋、地酒、いぶりがっこ、おいしいですよ」と呼び掛ける皆さん。テントの中では阿吽の呼吸で調理や販売を行い、自然に助け合う皆さんの温かさとチームワークに深く感動しました。

帰り際に「おいしかったです」「昨日も来たよ」と声を掛けてくださる方々の言葉を聞くたびに嬉しく、五城目の魅力が多くの人に伝わっていることを実感しました。お手伝いをさせていただいた三日間は忘れられない時間となり、参加させていただけたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

そして今年、たくさんの方のお力添えにより、町出身ではない私が県外から「ふるさと五城目会」に入会することができました。心より感謝しております。

「その場所にいると落ち着く、癒やされる場所も故郷なのだ」という言葉を目にしたことがあります。生まれ育った場所ではありませんが、五城目、そしてふるさと五城目会は、私にとってまさにそんな「第二の故郷」です。これからも、多くの方に五城目の魅力をもっと伝えていけたらと思っています。

